



～ 10月のメッセージより ～

礼拝で最近続いているメッセージのテーマは神様からの10のご命令「十戒」です。そういうものがある、ということだけでも覚えてくれたかしら？これがどういうもので、何故与えられたか、については前号(10月号)をもう一度読んで下さい。さてこの十戒、しばしば第4の戒めまでは「神に向かうあり方」であり、第5からは「隣人に向かうあり方」である、というふうに分けられます。でも、これは別々のものではなく、「神に向かうあり方」を知って初めて「隣人に向かうあり方」が意味をもつのです。私達は常に、聖書を通して語られる神様を基として生きるように、と示されているのです。もちろんクリスチャンだって、意見の食い違いはあります。相手に不快な思いを抱くこともあります。でも、その時に、どのように行動したらよいかを判断する基準は常に「聖書では、何と教えているか」です。では、もし相手に同じ信仰が無かったらどうでしょう？もう1つの例です。教会学校のメッセージの中で、日本でホスピスの普及に大変貢献されたカトリックのデーケン神父について触れたことがあります。彼は末期癌患者の心のケアとして、「死によって全てが終わってしまう」のではなく、死んでもなお消えることのない希望を与える、「この世に生きて良かった」という喜びを与える」ことが大切だと言います。彼は医療に関わるしかし神を信じない人々からも多く支持を得ていますが、その彼の言わんとする「希望」の基は、イエス様のことなのです。「生きていて良かった」という「喜び」とは、召されて後に天国でお会いする神様への感謝のことです。彼はクリスチャンで、そして神様のことを信じているからこそ説得力があるのですが、キリストを信じていない人から患者が「心のケア」として与えられる「希望」や「喜び」については、どこまで力があるでしょう。聖書の神が、日々の私達の心の基となって下さっている恵みに感謝して過ごしましょう。

6日「お誕生会」11月生まれのお友達、お誕生日おめでとう！祝福のお祈りとお誕生会、プレゼントがあります。皆でお祝いしましょう。

<<お知らせ>>

教会バザーは11月23日(水・祝)!

みんな来てね。(手伝ってくれる人は、8時30分ごろに、教会に集合です。まだまだ、提供品も募集中です！)

11月のメッセージの聖書箇所

	聖書箇所
6日	ヘブライ13:7-8
13日	エフェソ4:22-25
20日	ローマ13:8-10
27日	イザヤ9:1-6

今月の御言葉

「イエス・キリストは、きのうも今日も、また永遠に変わることのない方です。」

ヘブライ13:7・8

